

## タウンミーティング（三芳地区） 開催報告

- 日 時 令和元年7月27日（土）午後1時30分から
- 場 所 三芳公民館2階会議室
- 参加者 三芳地区連合自治会長、北地区自治会長、三芳老人クラブ連合会長、三芳地区女性のつどい会長、三芳体育協会会長、民生児童委員、社会福祉協議会三芳支部長、公民館サークル代表（2団体）、三芳祝太鼓保存会保護者代表、ふたば会会長  
市長、経営戦略部長、東予総合支所長、建設部長、港湾河川課長、市民協働推進課長、協働推進係長、シティプロモーション推進課長、広聴係長、東予総合支所総務課長、総務調整係長
- 傍聴者 6人
- 次第
  - 1 開会
  - 2 挨拶（三芳地区連合自治会長）
  - 3 挨拶（市長）
  - 4 市の主要事業について《市提案》
    - (1) 主要事業の説明（市長）
  - 5 参加者自己紹介
  - 6 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
    - (1) 課題等の経緯等内容説明（市民協働推進課長）
  - 7 地域課題②「三芳の地域づくりの今」について《地域提案》
    - (1) 地域からの提案説明
    - (2) 意見交換
  - 8 その他
  - 9 まとめ・閉会
    - (1) まとめ（市長）
    - (2) 挨拶（三芳地区連合自治会長）
- 会議録

### 1 挨拶

#### 【三芳地区連合自治会長】

皆さんこんにちは。このタウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主催となり、地域が主導して開催するものである。三芳地区では周りを見渡しても空き家、お年寄りが多く子どもが少ないなど様々な問題があるため、本日はこの会を開いてよかったと思える会議にしたい。

#### 【市長】

皆さん改めてこんにちは。本日は本当に暑い中、貴重な時間を頂戴して感謝申し上げます。

タウンミーティングという形で、前市長も取り組まれてきた部分だが、私も手探りでどのような形がベストなのかと、今年度6月22日から11月28日まで5ヶ月程かけ、全28地区に入らせていただき、地域の実情を伺いながら、予算で確保できるところはして、そして皆さんのご要望をお返りするような形ができないかと、スタートさせていただいた。

先程、会長からあったように、この後も説明させていただくが、地域が抱える課題というのは様々で複雑化している。そしてお世話役も重なっているということで、高齢化、固定化も大きな問題となっていることもまた事実である。地域が抱える課題、例えば西条の山間部である大保木と三芳は抱える課題が違うが、この地域づくりといったところを、この後に説明させていただきたい。

私ども市の状況も報告させていただきながら皆さんの地域事情に合わせて、これからの地域づくりをしたいと、強く思っている。先程、司会からあったように忌憚のないご意見を頂戴していただければありがたい。本日は限られた時間であるが、よろしくお願ひしたい。

### 2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料(1))

3 地域課題①「これからの地域づくり」について

(1) 課題等の経緯等内容説明

【市民協働推進課長】(参照別紙資料(2))

4 地域課題②「三芳の地域づくりの今」について

(1) 地域からの提案説明

【司会】

皆さんからいただいた課題は、お配りしている文書で市役所から説明をいただいた。この時間は10年、20年後の三芳も見据えながら、先程の「地域づくり」の説明にもあった持続可能な暮らしの実現のために、まず、今の三芳地区の現状や、各自治会や団体の活動や取組を聞きたいと思い、「三芳の地域づくりの今」をテーマとして提案させていただいた。

皆さんが今、取り組んでいることや、将来やりたいことなどをお互いが知ることにより、共通する思いや、お互いの繋がりが生まれ、三芳の地域づくりの第一歩になればと思うので、よろしく願いたい。

(2) 意見交換

【参加者】

どこの地域にも地域の踊りがあると思うが、三芳でも昔、別の踊りがあった。三芳の特徴らしさのある踊りではないため、5,6人で集まってなんとかしようと思いで考えた。

三芳には結構いいところがたくさんある。大明神川の天井川、それと昔あった競馬場の跡、それと三芳駅は100年を迎えている。光明寺の大桜や、さへの神というお社にある大きな楠もある。蛍も夏になったら飛んでいる。遍路道は昔、小林一茶も通ったそうだ。そんなことを歌にして8番まで作った。

市役所の方のおかげで曲もできて一応歌も歌っていただき完成した。私たちの目標はそれに振りをつけて、小学校の運動会で、今までの炭坑節の代わりに三芳音頭を踊ることである。小学校や愛護班に協力してもらい振りも作りたい。出来上がったら皆さんに紹介し、来年の小学校の運動会で踊りたい。意見があれば欲しい。よろしく願います。

【参加者】

子供達は太鼓というものを初めて叩くものなので、最初は先生のご指導のもと、リズムを取るところから始める感じである。やっぱり人前に出る機会が多いことによって、子供が自分に自信をつけてきているというのを、親から見て多く感じることもある。そういう経験から、自信をもって下の子に指導していくという気持ちの子供に芽生えているのかと思う。子供一人ひとりの成長につながっているのも、今後も保存会をみんなで守っていきなと思う。

【参加者】

老人クラブで100歳体操を始めた経過について、会員から100歳体操を立ち上げたいと相談を受け、市に話をして立ち上げた。三芳北の老人クラブ会員30人の中から最大15人集まって活動し3ヶ月経過した。よくよく聞くと、DVDのデッキ貸し出しや、踊る時の血圧測定などについて、市の支援が3ヶ月たったら終わりという話だった。そこで市で話をした。具体的には7月31日に継続していくにはどうしたらよいか話し合う予定にしている。

それからもう一つ、平成24,5年くらいに老人クラブ活性化をしないといけないと考え、当時公民館活動の活発なところを見学に行った。そして、老人クラブでコーラスを立ち上げた。現在も会員が25人いて活発にやっており、施設に2箇所程慰問に回るなど活動している。

【参加者】

当初愛護班は、地域と愛護班が結ばれて、小学校とは別であった。愛護班と地域が計画して行っていたが、14,5年頃に愛護班が学校に組み込まれた。以降、愛護班は学校の役員という形となり、それから愛護班が地域で本来何をやるのかわかってなかったように思う。元々地域とやっていた時にうまくいっていたが、この結果、地域の人たちが子どもたちを見る機会がなくなった。

先程の伝統行事の話があったが、とうどさんが終わった。理由は 0-157 が出て食べさせるのがあぶないということになった。餅つきも終わってしまった。どこかで誰かが相談をかけて後押ししてくれたらできる話が壊れてしまった。この話の解決は行政にお願いしたい。

**【参加者】**

いきいきバスのことで聞きたい。大きなバスが時間帯で回っているが、今のところ私自身も車に乗るので利用する機会がない。しかし、いずれ車に乗れなくなったら、簡単に利用できるシステムがほしいと思う。大きなバスではなくて、もっと小さいもので、こまめにあちこち回れるようなシステムにならないか。まだ自分の中でも組み立てができておらず具体的に言えないが、もう少し考えていただきたい。

**【市長】**

今、丹原でデマンドタクシーを実施している。公共交通で、将来使うであろうということを含めて、総額で年間約 1 億円をせとうち周桑バスとせとうちバスに補助金として払っている。だから使ってほしいが、利便性が悪いなど様々な状況で、ちょいちょい動くのは車がいいということなので、デマンドタクシーを使ってもらえるような環境作りをしていかなければならない。

もう少しドア to ドアでやっていこうと思う。行き先は役場であったり、銀行であったり、病院であったりといった形で、丹原でやっているがこれはまだ空振り。いきいきバスもうまくいってないと思っているが、デマンドタクシーの方もうまくいっていない。皆さんはどう考えているのか、もう一度頭を練り直さなくてはいけない。

もう少し人口が多く密集しているところだと、ループバスというものがある。例えば三芳を回りながら楠河に行き、公民館をぐるぐる回りその中に病院などを入れるといった、ループバスにデマンドを入れていったらどうか考えていく。その代わりに、市民の方に使ってもらいたい。使ってもらうにはどうしたらいいかというのを県議会時代から勉強していたが、最寄りの集会所をバス停代わりにつないでいけないか考えていたが、それは連合自治会から難しいと言われた。手探りではあるが、高齢者の事故が多いということを含めて、自分たちが 5 年先、あるいは 10 年先を考えなければならぬ。免許返納も、都会と西条市とは状況が違う。西条市ならではの形を作っていくかといけぬ。ここは少し補助金もカットしながらデマンドタクシーにシフトできないかといったことを引き続き検討していく。せつかくのお金なので利便性を上げたい。

少し話が違うが、愛護班の関係もある。この前も青少年健全育成の会とか、スポーツと健康の推進協議会で、どこまでをどういう風にすればいいかなとか、こういうふうなことがあるので、少し荷がかかっても、しんどいところは、失くすことは簡単だが、守らないといけぬところがあるので、どうしたらやっていけるかというのは考えていけぬといけぬ。相談をしながら話し合いをし、負担は少なくしていく方向で初期の目的を達成できるようにやっていきたい。

**5 その他（地区における課題及び要望に対する回答）〈大明神川について〉**

**【港湾河川課長】（参照別紙資料(3)）**

**【参加者】**

この提案は素人考えで予算や数字の裏付けもないが、私が本当に言いたかったところは、皆さん検討してくれている方々が、ここに住んでいて、親たちがここに住んでいて非常に困っている状況であると切迫感をもって、視野を広げて、汗を流して、検討していただきたい。

例えばダンプカーで砂利を処理する範囲が西条市で年間処理量が何トンまでわからないが、在庫量が何百トンだからこの処理は難しいとうことで終わらさず、運搬船で処理の範囲を広げてみるだとか、あるいは、海に仮置きするというのは非常に問題かもしれないが、昔の工業団地を埋め立てすることを考えれば、そう大げさな問題ではない。折衝は大変かもしれないが汗を流していただきたい。

これでやったからダメだと簡単に結論づけずに、汗を流して自分のつもりだと思って切迫感をもって対処してほしい、ということが言いたくて提案させてもらった。その辺のところ色々やってくれているのはわかるが、よろしくお願いしたい。この辺をしてもらえれば、この辺の地域の皆さんは、西条市のあるいは市長さんの応援団の強い力になるだろうと思う。ぜひよろしくお願いしたい。

**【市長】**

このことについては、中村知事も今回の公約の中に堆積土砂の浚渫（しゅんせつ）を公約に掲げてくれている。そういったことで、昨年7月豪雨災害の関係もあって、非常に意識しているところが、土砂処理である。

先程おっしゃっていただいた部分だが、どうしてもポケットがいる。そこに野積みはできないので、我々も港湾整備の計画変更というようなことで、新たな地先にその埋め立てポケットを作ることができないか。もう工業用地がない状態になっているので、将来のことも考えており、県が及び腰になっている部分もあるが、市はそれでもやっていきたいので、国との連携を図りながら、やっていこうと思う。

これは何も大明神川のことだけではなくて、中山川もしかり加茂川もそうだが、どうしても西条は直線距離で石鎚山までが20kmで、全国でもそういったことはまれである。妙ノ谷川もそうだが、急峻で、雨がどんと降ればすぐに河口までということになって、他の街よりも浚渫（しゅんせつ）土砂が多い。

そういったことも含めて、自分事として、本当に気になっている。だから堤と河川敷との境なんてない状態になっているので、そういった意識をしながら自分事として受け止めている。これも時間はかかるが、どのようにすれば動けるのかというのは、県ともしっかり折衝していく。

**【参加者】**

1点目は、まず放送設備について、放送が一斉に流れると聞こえない。時間差で放送するとかできないのか。また、山の反響があって聞こえない。つけた時に確認したのか疑問があり、この辺を確認してほしい。

2点目は、大明神川の県管理のことばかり言っているが、県管理の裏側の市が管理しないといけない川は、きちんとしているだろうか。大明神川の一步下がったところは市の管理だと思う。河北中学校のところも県管理の川が確かあったと思うが、それ以外は西条市が管理しないといけない。水利組合の関係があるから、市はしていないというのかもしれないが、その辺の兼ね合いをきちんとしてもらわないといけない。木が生えたり草が詰まったり、たいしたことないかもしれないが、そういう状況のところはかなりあると思う。今後対応をしっかりやってもらいたい。

**【市長】**

まず放送設備だが、反響して聞き取りにくいとか、暴風雨が強いところで雨戸を閉めていたら聞こえにくいというところがある。反響については、全てが同時に鳴らすことはなく、間引きして聞こえるように放送している。三芳地区がどういうところでシミュレーションしているか直接答えることができる職員が今日いないのでわからないが、間引きして聞こえるよう心掛けている。

それからもう一つ、先般、平成15年以降に激甚災害を受けたところの水害サミットでは、今まで15自治体だったのが今回30自治体に増えた。そこで、大学の先生から「今市民の皆さんが自分の命までを行政に委ねていないか」と言われた。

色々な取り方があると思うが、行政が逃げろと言ったから逃げるのか、市民は防災行政無線が聞こえなかったから逃げないのか、行政は必ず防災無線、あるいは気象庁との連携を図って情報発信している。しかし、逃げない市民の方がいるので、これをどうするか非常に頭を痛めている。

どうしたら逃げるか。このことが我々のテーマだと思っている。ハードの面もそうだが、自助、共助、公助があるが、近所で「危ないけんこれは逃げよや」という、危ないから逃げよと言ってもらえるような絆が必要である。理想的なことを言っているが、これがない限りは、救える命が救えないので。私が防災無線で「逃げろー」と言うより、単位自治会長が「逃げるよー」と言ったほうが効果がある。

そういうことを含めて、放送設備、行政からの防災情報の出し方、行政からということではなくマイタイムラインということで、この辺きたら危ないということ、それぞれにわかってもらえるように、行政も汗かくので、そういった部分は、ぜひとも皆さんの心にとめてもらいたい。

**【港湾河川課長】 大明神本流の支流について**

県が管理している2級河川は市内に53河川あるが、それ以外の中小の河川、水路も含めて

全て市の所管になっている。無限にそういった水路はあるので、なかなか市だけで状況を把握するのは非常に難しい状況である。その辺は具体的に、こういう状況であるというのを教えていただければ現地を確認する。管理は、市の直接の管理の部分と、地元土地改良区の管理の部分というがあるので、その辺は協議しながら対応していきたいと考えている。

【司会】

防災行政無線は、三芳地区は地域が狭いので、六反地に一つと、公民館、河北こども園、三芳北集会所、河北中学校にある。

## 6 まとめ・閉会

【市長】

限られた時間だったが、本当に貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。地域の抱える課題というところでお聞かせいただいた。また、三芳地区の中で、伝統を守る。また、新たなものを立ち上げるといったエネルギーが必要だ。そのエネルギー、熱を地域の方に浸透させることによって、この三芳地区が、持続可能な地区になると思う。

行政もしっかり本気でぶち当たっていききたい。それをいつも我々職員に言っているが、我がこととしてやっていくので、どうか地域の皆さんも、これからどうしたらいいかということ、自分だけで考えずに、もう少し輪を広げながら、先程説明があったように話し合いでどうやっていくかを、本気で一緒になって取り組んでいただければありがたい。

私はもうぎりぎりのところに来ているのではないかと思っており、危機感をもって行政運営していくので、引き続き三芳地区の皆さんにおかれても、よろしく願いしたい。

【三芳地区連合自治会長】

私も市長と同じように、この会を地域に帰って近所で話していただきたい。市長が来てくれた会が三芳でも開かれたということを広めてもらいたい。

最初に、市役所とこのような会をやたらろくなことがないと言った。しかし、市役所にもけっこう熱い人間がいる。面倒くさい人間もたくさんいるが、一生懸命やっている人間もいる。熱すぎてうとうしい人もいる。別にゴマするわけではないが、あそこまで地域のためにできないと思って会長をしている。ああいう人になれたらいいなという感じで、会長をやりたい。本日は皆さんお忙しい中、感謝申し上げます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

